

事業名	精神障害者保護対策費		
細事業名	精神保健福祉審議会開催事業費	財務コード	091704
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 心の健康 担当 (内線)	3202	

調査番号	41
------	----

事業の概要

実施期間	始期 S62 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 精神保健福祉に係る施策や事業	その対象をどのような状態にして 専門的な立場からの意見・提言を反映させる	結果、何に結びつけるのか 精神障害者の福祉の向上
内容	事業概要 精神保健福祉審議会の開催 ・事業内容: 県の附属機関であり、精神保健福祉に関する事項について知事への意見具申を行う。 ・委員構成: 16名(精神保健福祉に係る機関・団体及び公募委員から構成) ・委員任期: 3年 ・開催回数: 年1回(H27年は降雪のため未開催)		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	審議会の開催回数	目標	1	1	1	1	1	1	
		実績(見込)	1	2	0	0	0	1	
		達成率	100.0	200.0	0.0	0.0	0.0		
		達成区分	b	a	d	d	d		
成果指標	審議件数	目標	3	3	3	3	2	2	2
		実績(見込)	3	3	0	0	0	2	
		達成率	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
		達成区分	b	b	d	d	d		
決算(予算) 単位:千円		172	335	0	0	0	193	193	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	d	評価	審議会を開催することができず審議はできなかったものの会議資料を事前に送付しており、県が課題としてとらえている事項の説明はできている。
成果指標	d		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(精神保健福祉に係る施策・事業の推進にあたり、公正・公平な審議会運営が求められる)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	措置入院解除後の支援の在り方など、精神保健福祉に係る新たな課題が山積していることから、時宜を得た審議を行うことで県施策・事業の改善が図られる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他( )		
その他	説明			
見直しの必要性	無			

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。